

## 福島県環境基本計画に関する環境審議会委員からの意見について

No.	資料	ページ	項目	意見等	意見等への対応	担当課	委員
1	資料 1	-	2 計画の改定にあたっての視点について	環境基本計画の改定について、SDGsの取り組みをどのように取り入れるのか、これまでの環境計画をSDGsの関連項目として整理するのか、またはSDGsの視点で環境計画を改定するのをご検討ください。	SDGsの取組をどのように計画に取り入れていくにつきましては、県総合計画の動向等を踏まえ、引き続き検討してまいります。	生活環境総務課	渡邊委員
2	資料 1	-	2 計画の改定にあたっての視点について	気候変動適応計画については、①農業（りんご等果物、稲作等穀物生産）、林業（山地災害、森林保全等）、水産業（漁場・魚種の変化）分野②水環境（アオコ等水質悪化）・水資源（干ばつ対策等）分野③自然生態系（野生生物保全、里山保全等）分野④自然災害（大雨・強雨・土砂災害等）・沿岸域（高潮、海岸浸食等）分野⑤健康（熱中症、感染症対策）分野⑥産業・経済活動（金融・保険分野）分野⑦国民生活・都市生活（インフラ整備、ヒートアイランド対策等）分野などが指摘されています。これまでの環境基本計画の項目だけでは分野的にも対応できないものがあるかと思いますので、ご検討ください。	気候変動適応に関する計画につきましては、平成29年3月に改定した福島県地球温暖化対策推進計画の第5章に盛り込んでおります。この計画は法律施行前に策定していたものであることから、令和2年度に予定している地球温暖化対策推進計画の改定に合わせ内容の更新を行い、法律に基づく計画として位置づけたいと考えております。	環境共生課	渡邊委員
3	資料 1 参考資料	-	福島県環境基本計画の構成	・SDGsの達成の取り組みの明示や自然との共生だけではなく、人間社会を含めた循環共生圏づくりが重要になっている観点から 基本目標に「福島を想う全ての人々の力でつくろう～安心して暮らせて、自然と共生する“新生ふくしま”～」を、例えば「福島を想う全ての人々の力でつくろう～持続的で、安心して暮らせる環境共生圏“新生ふくしま”～」などをご検討ください。	ご意見を踏まえ、施策体系・基本姿勢等について引き続き検討してまいります。	生活環境総務課	渡邊委員
4	資料 1 参考資料	-	福島県環境基本計画の構成	基本姿勢Ⅰの1. 放射性物質による環境汚染からの回復→放射性物質による環境汚染からの回復・監視	ご意見を踏まえ、施策体系・基本姿勢等について引き続き検討してまいります。	生活環境総務課	渡邊委員

## 福島県環境基本計画に関する環境審議会委員からの意見について

No.	資料	ページ	項目	意見等	意見等への対応	担当課	委員
5	資料1 参考資料	-	福島県環境基本計画の構成	基本姿勢Ⅱの1 低炭素社会への転換→脱炭素社会の形成（ふくしまグリーン復興構想でも脱炭素社会が謳われています。その整合性の観点も含めて）	ご意見を踏まえ、施策体系・基本姿勢等について引き続き検討してまいります。	生活環境総務課	渡邊委員
6	資料1 参考資料	-	福島県環境基本計画の構成	2 循環型社会の形成→地域循環域共生社会の形成（防災上の観点から流域共生圏づくり、再生可能エネルギーやごみ焼却施設利用等で地産地消の観点から共生圏づくりが重要です。観光、エコツーリズム、遺構見学ツアーなども目的に合った圏域づくりを検討できると良いと思います。）	ご意見を踏まえ、施策体系・基本姿勢等について引き続き検討してまいります。	生活環境総務課	渡邊委員
7	資料1 参考資料	-	福島県環境基本計画の構成	4 良好な生活環境の確保→この項目の内容に感染症対策や熱中症対策など適応法に関連した内容も盛り込むようご検討ください。	ご意見を踏まえ、施策体系・基本姿勢等について引き続き検討してまいります。	生活環境総務課	渡邊委員
8	資料 1-1	-	全般	資料1-1は大きく実績・成果と課題に区分されて表示され、その後に関連した指標が掲載されていますが、できれば、計画課題で何を行ったか（実行内容）、その結果はどうだったか（実行結果）、その結果を受けて次に何をやるべきなのか（課題）を区分していただくと分かりやすいと思います。 例えば、実績・成果で 「・・・実施した」「・・・取り組んだ」「・・・支援した」「・・・努めた」は実際の行動ですので、実績ではあるかと思いますが、その実施内容が有効なのかどうかの評価が分かりません。従って、次の課題の適切性についても判断がしにくくなっています。 もし、今後も実績と課題の2区分で行くのであれば、「・・・実施した結果・・・」との表記をしていただくようお願いいたします。	資料1-1、「福島県環境基本計画の成果と課題について」の作成に当たりましては、施策の体系ごとに具体的な取組内容を記載したところではありますが、御意見を踏まえながら、今後の審議の中で丁寧に説明させていただきたいと考えております。	生活環境総務課	渡邊委員

## 福島県環境基本計画に関する環境審議会委員からの意見について

No.	資料	ページ	項目	意見等	意見等への対応	担当課	委員
9	資料 1-1	-	全般	指標については環境施策の達成度を示すような形になっていますが、数値目標は達成度だけの意味ではなく、環境の実態を示す指標もたくさんあります。数値目標を持つことは大変重要なことと認識していますが、最も重要なことは指標によって施策の有効性・適切性を判断し、課題解決に向けた施策が実行できるようにすることと理解しています。こうした観点から、課題や施策と一体化した数値目標をご検討くださいませご検討ください。	ご意見を踏まえ、指標の設定、数値目標等について引き続き検討してまいります。	生活環境総務課	渡邊委員
10	資料 1-1	1	環境放射線モニタリングの実施	全県的なモニタリング地点の減少計画も提案されていることから、「安全確保のためのモニタリングの実施と情報公開」も課題になるかと思えます。	ご意見を踏まえ、計画に盛り込む施策について引き続き検討してまいります。	放射線監視室	渡邊委員
11	資料 1-1	2	1 放射性物質による環境汚染からの回復 ○課題 ◆汚染廃棄物及び災害廃棄物の適正な処理の推進	市町村への助言と国の取組を確認とありますが、県の直接の役割はないのですか？	汚染廃棄物や災害廃棄物はその廃棄物の発生場所や汚染状況により国又は市町村が処理を行うこととなっており、状況を踏まえながら市町村への助言・支援等に取り組んでおります。	一般廃棄物課	河津委員
12	資料 1-1	2	環境指標 1 環境放射線量	合同庁舎の線量率だけではなく、第一、第二を含めた原子力発電所周辺の線量率及び中間貯蔵施設の線量率も含めることを希望します。	ご意見を踏まえ、指標の設定、数値目標等について引き続き検討してまいります。	放射線監視室	渡邊委員
13	資料 1-1	2	環境指標 2 水浴場の放射性物質基準適合率 環境指標 3 除染特別地域における住宅等除染の進捗率 環境指標 4 市町村除染地域における住宅除染の進捗率 環境指標 7 東日本大震災に係る災害廃棄物の処理・処分率	指標 2 は放射性物質の集積効果もありますので、そのまま掲示を希望しますが、指標 3, 4, 7 は施策と対応するものではないので、削除しても良いと思います。 その代わりに課題になっている「森林除染率」、「側溝除染率」「仮置き場の復旧率」などを計画目標に加えて掲載していただくことをご検討ください。	ご意見を踏まえ、指標の設定、数値目標等について引き続き検討してまいります。	放射線監視室 除染対策課	渡邊委員
14	資料 1-1	2	環境指標 6 中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送量	R3に実績値が記載されています。	記載の誤りです。R3の実績値欄の「1,400」を削除願います。	生活環境総務課	河津委員

## 福島県環境基本計画に関する環境審議会委員からの意見について

No.	資料	ページ	項目	意見等	意見等への対応	担当課	委員
15	資料 1-1	4~5	(3) 汚染廃棄物及び災害廃棄物の適正な処理の推進 実績・成果 イ	(8,000Bq/kg以下の焼却灰について) 概ね処理方針が決まったとありますが、具体的にはどのような方針でしょうか？	8,000Bq/kg以下の焼却灰については市町村等が廃棄物処理法に基づき処理することとなりますが、処理施設周辺住民の理解が得られないことから埋立処理が行えない自治体がありました。 これまで県は国と連携し、国の補助金を活用した処理を促すとともに、自治体が行う住民説明会への支援等を行い、ほとんどの自治体で埋立等の処理を行う方針が決まっています。	一般廃棄物課	河津委員
16	資料 1-1	6	環境指標 8 原子力発電所現地確認調査回数	指標8について調査回数が実績値として記載されていますが、白書などに掲載しても内容が分からないと不安になるだけです。内容の表記方法、解決策などを一体として記載する必要があると思います。監視を継続する意味で、周辺線量率や降下量、土壌汚染の現状などの指標公開をご検討ください。	ご意見を踏まえ、指標の設定、数値目標等について引き続き検討してまいります。	原子力安全対策課	渡邊委員
17	資料 1-1	6~7	2 原子力発電所及び周辺地域の安全確保	実績・成果、課題、が同じレベルで繰り返されていますが、小項目として、第一原発、第二原発に分けるか、原子力発電所の廃炉状況の確認と周辺地域の安全確保に分けるなど小項目を考えてはいかがでしょうか。	ご意見を踏まえ、計画に盛り込む施策の記載方法（項目分け等）について引き続き検討してまいります。	原子力安全対策課	河津委員
18	資料 1-1	9	環境指標 10 「福島議定書」事業参加団体数	少子化の影響により学校の統廃合等が行われ、学校数は年々減少しています。学校数の目標設定の考え方をご教示いただければと思います。無理な目標設定になっていないかご確認ください。	学校数の目標設定の考え方につきましては、設定時（平成24年度）の学校数である約1,200の75%を目標値としております。ご意見を踏まえ、指標の設定、数値目標等について引き続き検討してまいります。	環境共生課	高橋委員
19	資料 1-1	10	環境指標	再生可能エネルギーの発電量をアクションプランに基づき風力、太陽光等に区分して導入量を記載することをご検討ください。	ご意見を踏まえ、指標の設定、数値目標等について引き続き検討してまいります。	エネルギー課	渡邊委員

## 福島県環境基本計画に関する環境審議会委員からの意見について

No.	資料	ページ	項目	意見等	意見等への対応	担当課	委員
20	資料 1-1	10	(1) 温室効果ガス排出の抑制 実績・成果 イ	ZEBの支援が記載されていますが、アクションプランでは福島県内の50%の世帯が太陽光発電設置などを設置する必要があります。こうした観点からZEHの検討、支援も必要と思います。	ご意見を踏まえ、計画に盛り込む施策について引き続き検討してまいります。	環境共生課	渡邊委員
21	資料 1-1	11	(1) 温室効果ガス排出の抑制 課題 ア	これまでの取り組みを継続していくだけでは、パリ協定の実現はできませんので、「強化継続していく必要がある。そのために・・・」と施策があると良いのですが、ご検討ください。	ご意見を踏まえ、計画に盛り込む施策について引き続き検討してまいります。	環境共生課	渡邊委員
22	資料 1-1	11	(1) 温室効果ガス排出の抑制 課題 イ	(環境に配慮した建築物の整備について) 県内全域に拡大することをご検討ください。	ご意見を踏まえ、計画に盛り込む施策について引き続き検討してまいります。	環境共生課	渡邊委員
23	資料 1-1	11	(1) 温室効果ガス排出の抑制 課題 キ	バイオマス発電と森林除染の推進の検討は出来ませんか。	ご意見を踏まえ、計画に盛り込む施策について引き続き検討してまいります。	森林計画課 森林整備課	渡邊委員
24	資料 1-1	13	(3) 再生可能エネルギー関連産業の 活性化 実績・成果 イ	(再生可能エネルギー関連産業の育成・集積について) 企業マッチング数、人材育成数、共同研究数などを指標としてご検討ください。	ご意見を踏まえ、指標の設定、数値目標等について引き続き検討してまいります。	産業創出課	渡邊委員
25	資料 1-1	13	(3) 再生可能エネルギー関連産業の 活性化 課題 ア、イ、ウ	再生可能エネルギー関連産業の育成・集積に取り組む必要があるとありますが、今までも取り組んであれば、「引き続き」とか「一層」等の表現を加えた方がいいのではないのでしょうか。 以下、イ、ウもどうでしょうか。	ご意見を踏まえ、計画に盛り込む施策の表記について、引き続き検討してまいります。	産業創出課	河津委員
26	資料 1-1	14	(4) 福島新エネ社会構想の実現 実績・成果 オ	(水素エネルギーの普及拡大について) 水素ステーション数などを指標としてご検討ください。	ご意見を踏まえ、指標の設定、数値目標等について引き続き検討してまいります。	エネルギー課	渡邊委員
27	資料 1-1	15	2 循環型社会の形成 ○課題 ◆廃棄物の発生抑制、再利用、再生利用	リユースのためのマーケットの支援策が必要ではないかと思います。	ご意見を踏まえ、計画に盛り込む施策について引き続き検討してまいります。	一般廃棄物課	渡邊委員
28	資料 1-1	15	2 循環型社会の形成 ○課題 ◆廃棄物の適正な処理	プラスチックを含めたゴミについては普及啓発だけではなく、SDGsの考え方にに基づき、作る責任、使う責任から回収活動の義務化をすることはできないかご検討ください。	ご意見を踏まえ、計画に盛り込む施策について引き続き検討してまいります。	一般廃棄物課 産業廃棄物課	渡邊委員

## 福島県環境基本計画に関する環境審議会委員からの意見について

No.	資料	ページ	項目	意見等	意見等への対応	担当課	委員
29	資料 1-1	15	2 循環型社会の形成 ○課題 ◆廃棄物の適正な処理	「廃棄物の適正な処理のため、県民への普及啓発や廃棄物処理業者等への監視・指導・不法投棄パトロール等に取り組む」とありますが、 廃棄物の適正処理については、法律において事業者がその事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理しなければならないとされており、廃棄物処理を処理業者に委託した場合においても排出事業者が処理責任があります。排出事業者の適正処理への意識を更に高める必要があることから、上記文中に排出事業者という文言を挿入していただきたい。資料1-1以外の関連する計画や資料においても、排出事業者という文言がないものにおいては、挿入していただきたいと思えます。	ご意見を踏まえ、計画に盛り込む施策の表記について、引き続き検討してまいります。	産業廃棄物課	高橋委員
30	資料 1-1	18	(2) 廃棄物等の発生抑制、再使用、再生利用 ○課題 ア	一人当たりのゴミ排出量、一般廃棄物のリサイクル率が全国順位で毎年ワースト3位以内とありますが、福島県に特別な事情で低いのでしょうか？	一人当たりのごみ排出量については、東日本大震災前の順位は30位台であり、平成23年度以降ワースト3位内となっていることから、東日本大震災による影響が理由の一つと考えられます。リサイクル率については、市町村が回収・処分するものが統計の対象とされ、商業施設等による回収は反映されていないことから、県独自に商業施設等による回収状況に関する調査を行うなど、実態の把握を進め、リサイクル率向上に向けた施策に反映していきたいと考えております。	一般廃棄物課	河津委員
31	資料 1-1	19	(2) 廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用	「食べ残しゼロ協力店」について、協力要請ではなく、支援策を実施することで全県的に広げる必要があると思えます。SDGs-2とも関連し積極的な取り組みが必要と思えます。	ご意見を踏まえ、計画に盛り込む施策について引き続き検討してまいります。	一般廃棄物課	渡邊委員

## 福島県環境基本計画に関する環境審議会委員からの意見について

No.	資料	ページ	項目	意見等	意見等への対応	担当課	委員
32	資料 1-1	23	3 自然共生社会の形成 ○課題 ◆猪苗代湖等の水環境保全	水資源としての河川、貯水池、ため池等の水質保全についてもご検討ください。（水質測定で別途掲載されていますが、白書としても一定記載しておくことが必要に思います。適応策との関係も含めて）	ご意見を踏まえ、計画に盛り込む施策について引き続き検討してまいります。	水・大気環境課	渡邊委員
33	資料 1-1	24	環境指標 4 3 生物多様性について理解している人の割合 環境指標 4 4 尾瀬の入山者数に対する土・日曜日入山割合	指標 4 3 は母集団の問題があります。また、4 4 は観光指標で、政策の指標にはならないと思います。目標値の設定の意味が不明確です。木道整備数や美化団体数、清掃回数、保安林面積などが指標になるかと思えます。	ご意見を踏まえ、指標の設定、数値目標等について引き続き検討してまいります。	自然保護課	渡邊委員
34	資料 1-1	27	(3) 生物多様性の保全と恵みの持続 可能な利用 実績・成果 エ	(生物多様性の適切な保全について) 協力要請ではなく、支援策を実施することで全体的に広げる必要があると思います。希少野生動植物については情報発信を行うのみになっているが具体的に保全事業が必要に考えます。	ご意見を踏まえ、計画に盛り込む施策について引き続き検討してまいります。	自然保護課	渡邊委員
35	資料 1-1	28	(3) 生物多様性の保全と恵みの持続 可能な利用 課題 ウ	「生物多様性」の認知度が依然として低いとありますが、低い原因をどのように分析されていますか？	身近な問題である有害鳥獣による生活環境被害や農業被害などへの関心が高まっている状況に比べて、生物多様性（自然環境）は身近な問題としての認識が進んでいないものと考えており、引き続き「生物多様性」の認知度の向上、意義などの周知、啓発に努めてまいります。	自然保護課	河津委員
36	資料 1-1	28	(4) 地震・津波により影響を受けた自然環境及び生物多様性の回復に向けた適切な保全	地震・津波のみではなく、温暖化適応策として、海面上昇による海岸線の消滅が福島県沖でも予測されています。対策の検討が必要ではないかと思えます。	ご意見を踏まえ、計画に盛り込む施策について引き続き検討してまいります。	自然保護課	渡邊委員
37	資料 1-1	34	(2) 化学物質の適正管理等	PCB の処理期限が迫っていると思われませんが、課題として取り上げてはいかがでしょうか。	ご意見を踏まえ、計画に盛り込む施策について引き続き検討してまいります。	産業廃棄物課	河津委員
38	資料 1-1	35	(4) 大規模な開発行為への対応 課題 イ	メガソーラーの設置などは「土地利用が図られるよう誘導していく必要がある」ではなく、環境影響評価等に含めてをきちんと実施（特に光害）することで対応することが必要ではなかと考えます。	ご意見を踏まえ、計画に盛り込む施策について引き続き検討してまいります。	環境共生課	渡邊委員

## 福島県環境基本計画に関する環境審議会委員からの意見について

No.	資料	ページ	項目	意見等	意見等への対応	担当課	委員
39	資料 1-2	15	環境指標 3.5 県機関におけるグリーン購入の割合	割合が下がった理由として、特殊な物品の購入をあげていますが、具体的にはどのようなものでしょうか？ また、特殊なもののグリーン購入は可能なのでしょうか？	悪路走行に対応する自動車（いわゆる4WD車）やコート印刷による納入印刷物など、グリーン購入に適合した物品調達が困難な場合がありますが、今後とも、物品の購入に当たっては、グリーン購入適合品を選定するよう呼びかけるなど対応してまいります。	環境共生課	河津委員
40	参考資料	76	用語解説	計画の中で新しい言葉が増えると思いますので、分かりやすい用語解説をお願いします。	分かりやすい用語解説の作成に努めてまいります。	生活環境総務課	河津委員